


どんな子みつけ！

いよいよおさらい会！咳や鼻水などの症状では無理せずお休みするなど、お子さんの体調管理に気を配って下さり、そのお陰で、新型コロナやインフルエンザなどの流行も広がらず、なんとかここまで辿り着かせていただきました。

先日、お迎えのお母さまから、「家でやっていますよ～違うクラスのオペレッタまで見せてくれます！」とか、「部屋を締め切って一人で自主練しています。」とか、…一方で「家では一切やらないんです。ちゃんとやっていますか？」との声も聞こえてきました。



幼稚園での子どもたちの様子はと言いますと…、「お家で練習してきた！」と言う子がいたり、バスの中で急に合唱が始まったり、歌ったり踊ったり“エア合奏”をしたりして、とにかく、子どもたちのおさらい会に向けての意気込みはとても大きいのだなぁと感じています。

運動会が終わって程なくして始まったおさらい会に向けての活動。先生たちはそれ以前から、各クラスの子どもの姿や成長の様子から、興味を惹くもの、更に触れてほしいと思う内容などを吟味して演目を選んだので、子どもたちが引き込まれることは間違いなし！です。その上、お話の雰囲気や盛り上げる小道具や気持ちをくすぐる衣装が子どもたちの気持ちを盛り上げています。

でも、穴川花園幼稚園では、先生に与えられた演目を見事にこなすとか、着せ替え人形のようにただかわいさを追求するおさらい会ではありません。

たとえば年長組の劇などでは、登場人物の気持ちを考えてセリフを言ったり、こんなことを言うかもしれないとか、登場の仕方を工夫したりなど、子どもたちの意見で台本がどんどん変わります。そこで、お馴染みの演目も、先生と子どもたちの合作の、穴川花園幼稚園オリジナルのものへと化学変化を起こしています。ご覧いただき、あれっとか、おやつとか思われたところもあったかもしれません。

そんな子どもたちの思いやアイデアのつまったおさらい会は、「楽しさ」だけではなく、お友だちと力を合わせた喜びや、上手にできた達成感を体験させてくれ、子どもたちのやる気、そして成長に繋がることは間違いありません。

時として不安に思ったり、やりたくないという思いもあるようですが…（お母さん談です）お友だちが取り組んでいる様子を見たり、見てもらったりすることで、困難を乗り越えたり、自らやる気を起こす力を身につけていくのだと思います。

そんな子どもたちの成長を、カターのサポーターに負けないぐらい応援してあげましょう。



こな

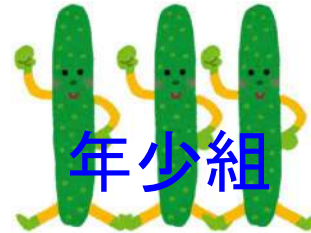
「こな」は、ようちえんで起こる
こなとき・こなこと・こ～んなにを
折々お届けします。

楽しくて仕方ない！

「私、あそび隊やるの！先生見に来ていいよ！」と、おさらい会の舞台練習に向かう年少組に誘われました。すると、「僕ライオン！ガオ～」「私オバケちゃん。怖いよ～」と言っておどけて見せる年少組。誰かをびっくりさせることが楽しみで仕方ないようです。

そんな声に誘われて、ホールに行ってみると、舞台上がったとたん自分の位置に並ぶことができ、音楽が始まると歌いながら踊る姿や、元気に掛け声を言う様子、またお顔を七変化させてなりきっている姿にびっくり！

いつもは挨拶をしても返事が返って来ない恥ずかしがり屋さんも、ママに会いたい甘えん坊さんも、そんな姿をみじんも感じさせない勢いでした。ちなみに、おさらい会当日は…「お母さん来たら、ヤダヤダするんでしょ？」と聞いてみたところ、「そんなの恥ずかしいよ。」だそうです。



お友だちのダンスも、一緒に踊りまくる…！どれも楽しくてしょうがない年少組。

いつでもおさらい会！



舞台練習の様子をお客さんとして観ているはずが…思わず一緒に踊りだしてしまう年中組。

戸外遊びをしている年中組に『お片付け』の放送が入りました。すると、遊んでいたおもちゃを急いで片付け始めたかと思ったら、何やらかわいい歌声。♪ね～ずみまつりだチュウチュウチュウ～♪と鼻歌が聞こえて来ました。その鼻歌はどんどん広がり、次第に年中組がみんなで大合唱になりました。またある時には、バスの中でお誕生日の子がいて、♪ハピハピバースデー～♪と歌いだし、周りの子がどんどん続いてまたまた大合唱になりました。

これは、年中組が取り組んでいるオペレッタの中の一節。おさらい会への取り組みが生活の中に自然に入り込んでいるでしょう。誰かが歌い出すと、僕も私も！とどんどん輪が広がっていく。繰り返しの練習ではなく、みんなで取り組む喜びを感じているからこそその姿です。

緊張も成長のあかし！



“モノづくり”をテーマに活動している年長組。劇で使う大事な小道具にも、手作りのものがあります。

おさらい会の予行練習を控えたある日、「もうすぐ予行ね。Rちゃん大きな声でお話できるかしら？」と聞いてみました。すると、「なんかドキドキする！」とRちゃん。「お客さんが見に来るのは嬉しいけど、でも緊張する！」とのことでした。予行練習当日どうかな？と見守っていると…。Rちゃんの予言的中！緊張から顔がこわばって、何を言っているのかわからないほど小さな声でした。でも、それはRちゃんに限ったのではなく、年長組の子どもたちの殆どが、いつもの元気がなりを潜めていたのです。

その日の帰り、戸外で鬼ごっこをしているRちゃんを発見！その姿は生き活きと、予行練習が終わった解放感が表れているようでした。とても大きな声だったので思わず…「予行練習の時のRちゃん、元気がなかったから心配しちゃった。でもそのくらい大きな声でお話出来れば大丈夫だね！」と声を掛けました。すると、ベロを出して、わかってる！だって恥ずかしかったんだもん！」と言って遠くに逃げて行ったのです。

予行練習をきっかけに、Rちゃんはもちろん、みんな日ごとに大きな声でセリフを言えるようになっていきました。緊張も成長のあかしで、計り知れないほどの力を持っている年長組だからこそ踏ん張れるのだと思います。

こ～んな子みつけ！



舞台準備や撤収を、子どもたちも手伝います！



「何が入っているの？」幼稚園の財産！長年保護者の方によっていただいた衣装がズラリ。

